

「子どもたちに夢と思い出をー」

ウィンターフェスティバルIN昭和2007が2月10日、村総合運動公園多目的グラウンドで行われました。

今年で13回目となる同フェスティバルには、親子連れやカップルなど、およそ5,000人が訪れました。
今年、雪に恵まれなかった会場内ですが、大きなフワフワすべり台が設けられ、

子供たちに大人気。また、宝探しゲームやビンゴゲーム、コンサートなど、イベントも盛りだくさんでした。

メインとなる打ち上げ花火は、午後7時からスタート。およそ40分間に渡り、色とりどりの花火が澄み切った夜空を鮮やかに彩りました。



夜空を色どった打ち上げ花火



YASKIのバンド演奏



大人気だった宝さがしゲーム

婦人会役員が

ボランティア

村婦人会(澤浦愛子会長)では2月19日、たけのこ学園でボランティア活動を行いました。

婦人会本部役員やボランティア部員など8人が参加し、約1時間にわたって軽作業に挑戦。園生たちと一緒に白小豆の選別作業を行いました。

また、作業が終わった後には、普段園生たちが行っている焼き物にも挑戦。湯飲みや茶碗などを作り上げました。



職員や入所者と一緒に作業



表彰される林団長

県消防大会で特別表彰を受賞

平成18年度群馬県消防大会が2月15日、伊勢崎市文化会館大ホールで行われ、昭和村消防団（林公男団長・団員306人）が知事特別表彰を受賞しました。

村消防団は、2年に1度行われる全国消防練法大会に、県の代表として平成14年の第18回大会から平成18年の第20回大会まで3大会連続で出場。好成績を残してきました。このたびの表彰はこれが評価されているものです。

このほかに、林公男村消防団長（大堀）

が、「日本消防協会会長表彰 精績章」を受賞。林貴子さん（大堀）が「群馬県消防協会会長表彰 配偶者」を受賞し、小寺群馬県知事より表彰の伝達を受けました。

また、同大会では、消防団活動事例発表が行われ、第10分団長の青木敏二さんが、「闘う集団」と題して、全国大会での優勝を目標にしているから、全国消防練法大会で6位に入賞するまでの経緯を発表しました。

ダニエル・カールさんが子育て講演

第13回村生涯学習大会が村公民館多目的ホールで行われました。

この日、会場にはおよそ250人が来場しました。

第1部となる生涯学習発表では、村PTA連絡協議会会長の綿貫利彦さんが同会の活動について発表。

続いての人権子育て講演では、タレントのダニエル・カールさんが、「ダニエルの子育て論」と題して講演を行いました。ダニエルさんは「私は子供を育てることが人生で一番大事な仕事だと思って

います。子供が15歳になる今でも、時間管理をして毎日3時間は話します」と来場者に話していました。

また日本語について、「日本語には、主語のない文章が多くて、コミュニケーションの要素が足りていない。外国人には意味が伝わりづらいし、子供にも伝わらないのではないのでしょうか。あせらず、急がず、言いたいことをゆつくり、しっかり伝える必要があります」と外国人としての難しさを語っていました。



おなじみの山形弁で軽快なトーク

亀田先生（南小学校）が文部科学大臣表彰受賞

このほど、南小学校の亀田良一先生が文部科学大臣表彰を受賞しました。

亀田先生は、長年にわたり特別支援教育に尽力されており、特別支援教育の分野では、利根沼田のリーダー的存在。南小学校内だけにどまらず、郡内の小学校で指導も行っています。

このたびの受賞に対しては、「自分では優秀だとは思っていません。校長先生や他の先生の協力があって、自分のやりたい事が何でもできる体制があったおかげで頂けた賞です」と話してくれました。



おめでとうございます